

釜利谷地区センター委員会（中間報告会）議事録

日 時 平成28年11月18日（金）午後3時～4時00分
場 所 釜利谷地区センター 中会議室
出席者 出席委員 12名（委員定数 15名）
瀧澤会長 高林副会長 松野委員 長谷川委員 福本委員
早瀬委員 岡野委員 工藤委員 吉岡委員 丸橋委員 山田委員 植木委員
欠席： 小泉委員、堅木委員、榎田委員（3名）
金沢区役所：出丸区民活動支援担当係長代理吉野職員
事務局：金子事務局長
釜利谷地区センター：長島館長 櫻井副館長

1 司会 館長

H28年度の上半期6か月を経過したので、釜利谷地区センターの本年4月から9月までの運営状況をセンター委員の皆様にご報告します。（事務局から本日の委員出・欠を報告）（別記）

開会宣言と挨拶

- ・「現在釜利谷地区連合町内会会長代行を務めさせてもらっています、今回当委員会の会長をおおせつかったのでよろしくお願いいたします。」
- ・金沢区役所地域振興課吉野職員挨拶
- ・金子事務局長挨拶

2 瀧澤委員会会長へセンター委員会要綱に基づき議長の就任をお願いする。

3 議長 瀧澤センター委員会会長

委員の皆様のご審議を通じて、今後の地区センターの運営に反映していきますので忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

報告事項1から事務局に報告を指示する。

1 「新委員の紹介」について

中村前会長の逝去に伴い、釜利谷連合町内会会長代行であります、瀧澤さまに当委員会の会長に就任をお願いしたところでございます。

また、1名減となりました委員につきましては地域代表として直近の町内会であり、小泉町内会の早瀬会長をお願いいたしました。また要綱には副委員長2名を置くとありますが、今回の異動が前会長の急逝によるものであるため、新副委員長につきましては次期本委員会までに会長と調整の上、決めてゆきたいと考えております。

2 報告事項「平成28年度上半期事業報告」について

館長から（1）利用状況報告（2）自主事業等報告、（3）上半期施設執行会計中間報告を行った。

(1) **利用状況報告**では、4～9月半年間の統計資料のグラフを基に、全体の利用者数、利用者の階層、部屋別の時間帯稼働率、月別利用料金、月別図書貸出数等について説明した。

「利用者数」については、昨年度同期比で3%増の64,340人と順調に推移している。団体利用と個人利用の比率は40%、60%で大きな変動はないが個人利用の割合が増加傾向にある。「団塊の世代」の個人利用が高まっているのではと推測している。

「利用階層」については、高齢男女と一般女性が多く、高齢男女で41%、65歳未満の一般女性が19%を占めて。大学生、中高生の割合は相変わらず低い（11%）、夜間利用で受験勉強をしている学生が見受けられます。

小学生は前年度比4%増となっています。釜利谷地区の子供たちの放課後の居場所として年々定着してきているのではないかと考えています。

「月別利用者数」は個人、団体比率、利用者ともほぼ前年並みでした。

次に、地区センターの利用状況を最も端的に示し、運営効率測定の重要な指標である「**部屋別時間帯稼働比率**」は、前年度の上半期で54.9%でしたが、今年度の上半期は53.4%でした、今後通年では昨年と同程度の稼働率になるものと推測されます。

料理室、和室の稼働率が低いのも毎年の傾向ですが、工夫が求められています。

「**月別利用料金**」は9月末までに2,017千円を計上しています、昨年度が2,077千円でした、9月以降持ち直しておりほぼ昨年と同様の水準になるものと思われま

す。「**月別図書貸出数**」上半期で昨年比は96%です、当館は市内地区センターの中で上位13~15位の貸出冊数に位置しており、今年も昨年並みとなる見込みです。

(2) 自主事業報告について

パワーポイントで主要事業を報告した。

「地産地消」で“きのこ狩り”を実施した。

「**えいごがいっぱい**」「**えいごでエンジョイ**」は、就学前の未就園児を対象に行っています。「いっぱい」は母親同伴で母親同士の触れ合い機会の意味も持っています。「**えいごでエンジョイ**」は就園児を対象にした英語講座です。講座といっても座学ではなく、工作をしたり歌を楽しみながら英語に親しんでもらうことを主眼に実施しています。

「**夏休み！こどもパン作り**」は、今年も大変な人気で、午前、午後で32人の子供たちの参加で行われました。作ったのはこちら（写真）のパンです。

「**DIY こども工作教室**」は今年度新規に始めた事業で、様々な形の木片を子どもの発想で、全く自由に作り上げる工作です。完成型は示さないので戸惑いも見られましたが、いろいろな作品が出来上がりました。

「**ちびっこ夏休み**」は、8月の約1週間（12:15～14:30）を体育室全面と2階会議室で昨年に引き続き行いました。バスケットゴールを使ったボール入れや地域のボランティアさんの指導によるスポンジテニスは今も大人気でした。会議室では、やはり、お話会のボランティアさんによる昔話の紙芝居を行いましたが、写真のとおり大変盛況でした。その他に、シャッフルボード、ドッチビーなど日頃体験しない種目に子どもたちは挑戦していました。

「こどもお楽しみ会」は8月29日に釜利谷地区青少年指導員の方が主催でおこなわれました。射的や輪投げ、スーパーボールすくい、ヨーヨーなどで今年もお子さんに楽しんでもらいました。

自主事業ではないが釜利谷小学校の生徒が「総合的な学習の時間」に釜利谷地区センターをテーマに上げてくれて来館し、後日要望等の申し入れがあったことを紹介した。

質疑 釜利谷小 岡野校長

Q:今年「総合的な学習の時間」で“地域をよく知る”ことをテーマに地区センターも中にいれてもらった。子供たちが好きなことを言うと思うがよろしくお願いします。

A:子ども目線での斬新な意見を聞いて感謝している、子供たちにも利用しやすい施設づくりを目指したい。

(3) 上半期施設執行会計中間報告について（館長）

【収入の部】について説明します。

利用料金収入は各室の利用料金、当初予算見込みで420万円のところ上半期262万円を計上（2か月先以降の予約分を含む）し、62.5%の達成率となっており順調に推移しており年間予算額の達成を目指します。

雑収入はコピー機、自販機収入ですが、予算では通年で50万円のところ、19万円の収入となっています。

事業収入では、通年収入見込み200万円のところ既に125万円を計上しており、予算達成は可能です。特に、大人対象の自主事業収入が好調なため、採算の望めない子ども対象のワンパクホリデー事業に収入予算の一部を振り向けています。

上半期予算の収入見込み893万円に対し592万円の収入となっております。

次に、【支出の部】について説明します。

事務費は、地区センターを運営していく際に必要となる消耗品、図書購入や通信費やコピー機のリース料等経常的経費への支出で予算額の37%の66万円を支出しています。

事業費は大人と子供の事業あわせて52万円となっていますが、事業予算が155万円ですので上半期時点で効率的な支出となっています。内容は自主事業実施に当たって支出される講師謝金、材料費などの経費で事業の原価となるものですが収入に比して割合が少なく、地区センターの効率的な事業運営に大きく貢献しております。特に、カラオケ講座が好調なため、赤字が多い子供の事業実施を可能にしています。

修繕費は、事務室の制御盤修理やトイレの断水に伴う応急対応に4万3千円支出しました。

利用料金支出の172万円は上半期の利用料金258万円の2/3相当額をNPOに振り替えた金額で、NPOの経費に充当されます。

ニーズ対応費は、利用料金の1/3が利用者還元として支出可能な金額ですが、今年度下半期に利用者ニーズを踏まえ支出していきます。現時点での還元額は24万円ですが、主にカラオケ利用者のカラオケ機器リース代及び図書購入費支出しました。

以上が、上半期施設執行会計の説明です。

会長：以上が、1の「上半期事業報告」になりますが、ご意見があれば伺いたと思います。

Q：料理室の稼働が低いとのことだが料金を下げたり、もっとPRが出来ないか。

A：今回調理器具の一部入れ替えを計画している、また少年野球やサッカー体へ大会の打ち上げ食事会など各種団体へも広報をしている。

6 報告事項3「利用者アンケート（9月実施）報告」について（館長）

実施状況について、9月10日から20日の間に100件の回答を目標に行いました。

アンケート結果について分析資料に基づき説明する。

アンケート結果について質疑。

特になし。

【全体質疑】

Q：自主事業のPRは地区センターたよりの回覧や館内掲示はあまり効果ないのではないか。

A：事業へ応募してきたお客さまへ「この事業を何で知りましたか？」といった調査では圧倒的に「広報よこはま」が多い、しかし与えられたスペースが限定されているので掲載するにあたりタイトルやフレーズに配慮している。

7 報告事項4

次回日程6月9日(金)にお願いしたい。